

職務育成品種（活用方針決定品種）の特性

作物名	水稻	系統名	信交559号	育成場	農業試験場
-----	----	-----	--------	-----	-------

【品種特性の概要】

- 「あきたこまち」に比べ、出穂期は3日遅い。成熟期は同等の早生品種。収量はほぼ同等。
- 高温登熟耐性が強く、白未熟粒の発生が少ない。また、耐冷性も強い。
（高温登熟耐性と耐冷性を併せ持つ初の本県育成品種）
- いもち病抵抗性が強く、斑点米発生要因となる割れ粳の発生が少ない。
- 食味官能評価の総合評価は「あきたこまち」と同等。

【対照品種との比較】

表 「信交 559 号」の早晩性及び生育・収量特性

品種 系統名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏	精玄米重 (kg/10a) 篩目 1.85mm
信交 559 号	7/24	8/29	74	19.0	430	無	62.3
あきたこまち	7/21	8/28	84	18.3	461	極微	62.8

注) 令和3～6年長野県農業試験場内生産力検定圃場（標高335m）での平均値

表 「信交 559 号」の高温登熟耐性検定

品種 系統名	令和 5 年		令和 6 年		総合判定
	白未熟粒率	判定	白未熟粒率	判定	
	%		%		
信交 559 号	0.7	強	2.0	強	強
ゆめしなの	4.9	中	11.3	弱	やや弱
標準品種					
トドロキワセ	8.4		5.2		(弱)
あきたこまち	3.4		3.9		(中)
ふさおとめ	1.2		2.5		(強)

注) 農業試験場の高温検定ハウスにおいて、出穂期20日間の平均気温が27℃以上の温度管理を行い、穀粒判定機（RN-700）で白未熟粒率を調査、品種登録審査基準及び新潟県（石崎 2006）の標準品種との比較により相対評価。

() は標準品種の特性値。



「信交 559 号」(左)と
「あきたこまち」(右)の草姿



「信交 559 号」(左)と「あきたこまち」(右)の
高温登熟耐性検定（白未熟粒発生率）